

放送大学「生涯学習支援番組（仮称）」（2018年度第1回制作）の制作業務仕様書

1. 業務概要

放送大学学園（以下、「学園」という。）のテレビ番組（以下、「番組」という。）の構成・演出・収録・編集等の制作業務を行う。

本番組は、2018年度に放送予定のテレビ生涯学習支援番組（仮称）である。

請負事業者は、学園が示す企画方針および計画に基づき、学園プロデューサー等と連絡・協議を行いつつ連携をとり、番組制作業務を遂行する。

2. 請負期間

契約締結日～平成30年9月28日

3. 制作する番組・本数・概算所要経費

別紙1から別紙6のとおり

4. 番組制作業務の具体的内容、手順

1) 放送番組の演出

- ・出演講師、学園プロデューサー等と打合せによる内容原案を元に、演出方法及び内容を策定、実施

2) 内容検討・番組進行表の作成

- ・番組全体の構成案（項目、配列、時間、配分）策定
- ・映像・音声素材等の選定（ビデオ・写真・コメント等）
- ・出演者との内容・スケジュールの交渉（講師・ゲスト等）
- ・ロケーション先の下見、選定

3) ロケーション（国内）の実施と編集

- ・ロケーション（国内）に必要な要員の手配、機材の準備及びロケーションの実施
- ・出演者のヘアメイク及び衣装の手配
- ・ロケーション実施後の映像・音声の編集等、後処理

4) 番組の素材資料の収集と作成

- ・動画・静止画・図版等の収集および作成。なお、資料の収集にあたっては学園が推奨する素材（AFP）を優先的に選択する。

5) 請負事業者による「放送大学学園著作物利用規程」に基づく権利処理（音楽等一部を除く） 処理にあたっては、以下の点に留意のこと。

- ・学園が定める承諾書を出演者から受領すること。
- ・番組出演者にかかる出演料、交通費等は、請負事業者が負担すること。
- ・上記4)の素材資料の放送（マルチ編成含む）等利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理
- ・放送（地上及び衛星、CATVによる同時再放送を含む）・国内CATVによる再放送（無償番組提供に対応のこと）・インターネット配信（学園のHP上での公開。ただし、ダイジェスト動画においては、ユーチューブ等外部HP上での公開にも対応のこと）・学習センター等へのDVD配架等の番組の二次利用に関わる著作権等の調査、確認及び権利処理
- ・権利処理及び利用した素材（音楽及び上記3)等に伴う出演者並びに上記4)含む）等の記録報告

6) 美術セットの調達と操作

- ・ 大道具・小道具、生花木の調達及び操作

7) タイトル、テロップ・パターンの制作等

- ・ タイトル、テロップ・パターンのデザイン及び制作
- ・ CG・アニメーションの作成及び操作

番組のダイジェスト動画の開始タイトル及び終了タイトルの表示方法は、別途学園プロデューサー等の指示に従うものとする。

8) 番組の試写

- ・ 学園プロデューサーによる完成前試写及び指示に応じた修正作業

9) 放送用台本の作成、印刷

- ・ 放送用台本の作成及び印刷

10) 音響効果

- ・ 番組に関わる選曲および効果音制作等

11) スタジオ収録及び収録時の副調整室指揮

- ・ スタジオ収録に関わる各種伝票処理
- ・ 出演者・技術スタッフとの収録打合せ
- ・ ドライ、カメラリハーサル
- ・ 学園プロデューサー等の検査後、テープ・ディスク等引渡し

12) 後処理、手直し等

- ・ 資料の整理
- ・ 伝票の整理
- ・ 番組制作に使用した素材テープ等の入庫整理

最初の放送の日から1年以内の手直しについては、請負代金に含むものとする。

13) 上記各項目の業務遂行のために必要な打合せ参加

5. 番組制作業務に必要と想定される職種及び人数

請負事業者は、学園プロデューサーと協議のうえ、当該業務を適切に遂行できるよう各業務内容に応じ必要な専門知識を有する者を手配するものとする。

6. 学園施設・機器等

1) 収録は学園のテレビスタジオを使用する。収録に係わる業務に必要な技術要員は、学園で措置する。

2) 完成素材収録用 XDCAM メディア、スタジオ収録用 XDCAM メディア、考査試写用 DVD-R は必要な数を貸与する。

3) その他、学園が貸与するリソース(機材・要員含む)は以下の通り。

○オンライン編集(ECS) ○MA 作業

4) 請負事業者が手配・調達するものは以下の通り。

○ロケ(要員および機材) ○オフライン編集 ○音響効果 ○スタジオ大道具・小道具、道具操作

○メイク ○衣装(スタイリスト)

5) 上記に含まれないものについては双方で協議して決定する。

7. 学園への納入物品の取扱い

次の完成物を番組の種別ごとに記載された数量を平成 30 年 9 月 21 日までに納品し、学園職員による検査を受ける。

	教養番組 (1番組あたり)	告知用動画 (1番組あたり)
放送用本番素材記録XDCAMメディア	1本	1本
放送用予備素材記録XDCAMメディア	1本	1本
クリーンピクチャー収録XDCAMメディア	1本	1本
番組考査試写用DVD-R	1本	1本
放送用台本	1部	1部

8. 番組制作業務完了等の報告

請負事業者は、番組完成後「番組制作業務完了報告書」、「著作権処理業務完了報告書」及び「楽曲使用報告書」を放送部企画管理課に提出し、学園職員による検査を受ける。

9. 請負代金の請求・支払

請負事業者は、7及び8の検査に合格したときは、請負代金を学園に請求する。
学園は、適法な請求書受理後、40日以内に財務部経理課から支払うものとする。

10. 著作権の帰属等

- 1) 制作した番組に関する著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は学園に帰属する。
- 2) 番組は、学園の著作名義で公表する。
なお、制作協力等の表示は、学園の基準によるものとする。
- 3) 学園は、番組等及び関連素材を必要により改変して使用することができる。

11. 業務内容の変更等

- 1) 本仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負事業者の責任において履行するものとする。
- 2) 予期することができない状態の発生など、業務内容を変更せざるを得ない場合には、学園と請負事業者が協議の上で、業務内容を変更することができる。
- 3) 業務内容が変更された場合には、請負代金についても協議の上、変更することができる。

12. 安全の確保

- 1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、請負事業者の従業員を直接指揮命令する者（以下、「現場責任者」という。）を必要に応じて1名以上選任し、任務に当たらせるものとする。
- 2) 現場責任者は、業務の実施の過程における安全対策について、請負事業者の従業員およびその指揮下にある全てのスタッフの安全確保に十分取り組むとともに、徹底を図る。

13. 業務の再委託等

- 1) 請負事業者は、業務の実施にあたり、業務の全部について、一括して第三者に請負わせたり、一括して第三者に再委託してはならない。
- 2) 業務の一部を第三者に対して、請負わせたり、再委託する場合、請負事業者は、あらかじめ、所定の事項について、学園に申請した上で、承認を得なければならない。

別紙 1

制作する番組・本数・概算所要経費

1. 生涯学習支援番組（仮称） 1番組（45分版×1本、15分版×3本）

分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）
教養番組	放送大学・私の学び方～私はこうして学んでいます～（仮）	2年	2,800千円 （うち4本制作）

※ただし、15分版は45分版から主人公・三人ごと（3本）に分割したもの。
45分版の終わり1分はフィラーとする。（素材は提供も可）。

2. 告知用動画 1番組（1分版×1本）

内容	概算所要経費（税込）
放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画。	上記1に含む

多くの人たちに「学ぶ楽しみ」「リベラルアーツ」「生涯学習」の体験を知ってもらうため、三人の放送大学学生を主人公とした学びのスタイルをドキュメンタリー形式で紹介し、入学（希望）者に向けた、放送大学の学び方をガイドする番組を目的として制作し、放送するものである。本件では、45分版1本と15分版3本を制作する。

応募に際しては、以下の点に留意した「企画構成案」を提出すること。提出された「企画構成案」に基づき審査を行い、制作業者を選定の上、具体的な演出方法等を決定するものとする。なお、この主人公想定は審査に用いるもので、実際に制作する番組と設定が異なる場合がある。

- 「企画構成案」の書式は、自由であるが、構成案が簡潔に分かるように工夫すること。
- 本企画構成に関し、放送大学学生への問い合わせは行わないこと。
- 「企画構成案」の想定は、次のとおりとする。

想定される取材候補(例)とスポットを当てる学びのノウハウ

(1)「ビジネスに生かす知識を得る」メーカー勤務のYさん 心理と教育コース【社会人・資格系】

(消費者理解のため、認定心理士の資格取得を目指す)

- <学びの楽しみ>①学費が魅力 ②効率的な自分にあった勉強法をいかにして作りだすか
- ◎放送大学に入って、キャリアアップの方法と自分のやるべきこと目標が明確になる。
- ◎単位認定のために、有給休暇を取ることもあるが、自分にあった勉強の仕方を工夫。

(2)「看護師資格を目指す」看護師のNさん 教養学部 専科履修生 【キャリアアップ】

(クリニックに勤めていて院内研修がないので関連科目を学べるのは魅力だった)

<学びの楽しみ>①看護系科目を専門に学べる ②働きながら学べる

◎看護学の学士号取得を目指して、全科履修生に編入するつもり。

◎学園が色々と相談に乗ってくれて、想像以上に楽しく、刺激的。

(3)「第二の人生 リベラルアーツへの誘い」定年退職 kさん 教養学部全科履修生【第二の人生】

(元システムエンジニア、退職後、社会福祉系団体に働きつつ、好きな科目を好きなだけ学ぶ)

<学びの楽しみ>①面接授業が楽しみ ②これからの人生を考える科目に興味

◎第二の人生に入ったとき、何をすべきか？頭を整理するのに放送大学は役に立つ。

◎録画やインターネットを使えば、想像以上に自由に時間が使える。

目的や世代の違う学生三人を例に、各々がどのように修学コースを選び、学んでいくのかを追う。

別紙 2

制作する番組・本数・概算所要経費

1. 生涯学習支援番組（仮称） 1番組（75分版×1本）

分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）
教養番組	放送大学スペシャル リカレント教育の現場～人生100年時代の学び方～（仮）	2年	3,800千円

※終わり1分はフィラーとする。（素材は提供も可）。

2. 告知用動画 1番組（1分版×1本）

内容	概算所要経費（税込）
放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画。	上記1に含む

人生100年時代を見据え、誰もが人生を再設計する社会に向けて、放送大学・岩崎久美子（心理と教育コース）教授が最新の「学び直し」の現場取材を基にしたスタジオ討論で、その意義を明らかにしながら、今後の課題に迫る番組を制作し、放送するものである。

応募に際しては、以下の点に留意した「企画構成案」を提出すること。提出された「企画構成案」に基づき審査を行い、制作者を選定の上、具体的な演出方法等を決定するものとする。なお、ここで想定した取材先は審査に用いるもので、実際に制作する番組と設定が異なる場合がある。

- 「企画構成案」の書式は、自由であるが、構成案が簡潔に分かるように工夫すること。
- 本企画構成に関し、想定取材先及び放送大学教員への問い合わせは行わないこと。
- 「企画構成案」の取材先想定は、次のとおりとする。

(1)私立大学の雄・早稲田大学の動き【最先端テーマに重点を置いたプログラム】

あらゆる世代の“学び”と“学び直し”を適切にガイドするポータルサイト「まなびのコンパス」をオープンした早稲田大学。

これに先立って、日本橋キャンパスで活動を始めている「WASEDANEQ」と連携し、社会や企業が直面する課題に挑戦する実践的なプログラムの開発を進めている。日本橋という立地を生かした、社会人自身が抱える課題解決に向けた実践的な取組を追う。

(2)ターゲットは主婦・日本女子大の挑戦【実践的なスキルで再就職支援】

離職女性の再就職支援を行っている日本女子大学。就職経験のある、大卒女性を対象とした1年の通学過程（リカレント教育課程）を実施している。入学者の平均年齢は38.9歳。

およそ半数が主婦となっている。託児サービスも充実、履修しやすい環境が整っている。

特に力を入れているのは「ITスキル」と「リスクマネジメント」。

その結果、就職を希望する、ほぼ全員の再就職を実現している。

(3) 地方の挑戦・山形大学、久留米工業大学、石川県ほか【地域の課題へのアプローチと履修証明】

新たなアグリビジネスの担い手育成を目指す、山形大学の「食と農のビジネス塾」。

履修期間6ヶ月で、DVD学習を組み合わせ、学びやすい環境を作っている。

「デジタル時代の機械設計技術者育成講座」を開く、久留米工業大学。

WEBテストを導入することで、履修証明を発行している。

さらに石川県では、県内の高等教育機関と自治体・主要経済団体が加盟する「大学コンソーシアム石川」が中心となり、地域の課題に取り組み、解決できる人材の育成に取り組んでいる。

中心となっているのが、金沢工業大学。

40代、50代のミドル・シニア世代に向けた、「キャリア見直し」のコースを立ち上げるなど、実践的な取組を続けている。

(4) スタジオ・トーク 現場から見えてくる課題や可能性を整理する。

制作する番組・本数・概算所要経費

1. 生涯学習支援番組（仮称） 5番組（45分版×10本）

分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）
教養番組	放送大学・討論番組（仮）	2年	12,500千円 （うち10本制作）

※終わり1分はフィラーとする。（素材は提供も可）。

2. 告知用動画 5番組（1分版×5本）

内容	概算所要経費（税込）
放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画。	上記1.に含む

授業番組の枠組みを離れ、既存のテレビメディアと違った新たな視点で、社会的関心事や時事的にクローズアップされたテーマを、各分野にわたる放送大学の講師陣と様々な分野の専門家がジャンルを超えた討論で深く掘り下げていく、新たな「教養系番組」となることを目的に制作・放送するものである。

なお本件では、各番組で前後半45分版2本の構成とし、5番組分10本を制作する。

応募に際しては、以下のテーマに即した「企画構成案」を提出すること。提出された「企画構成案」に基づき審査を行い、制作業者を選定の上、具体的なテーマ・演出方法等を決定するものとする。ここで想定したテーマは審査に用いるもので、実際に制作する討論番組のテーマとは異なる場合がある。

なお、提示した想定テーマは5番組のうちの1番組であり、他の4番組のテーマについては、別途、学園内で決定したものを提示する。

テーマ「人工知能（AI）の未来は？」

放送大学・秋光淳生教授（情報コース）を司会役として、AIの専門家、異分野の専門家（物理学・哲学など）が、日々進化を続ける「人工知能」の“いま”と“これから”を語りあう。

- 番組のサブタイトルは、テーマに即したもので自由に設定すること。
- 番組の出演者は、司会者を除いて3人以上。放送大学の教員が含まれることが必須条件。
- 「企画構成案」の書式は、自由であるが、構成案が簡潔に分かるように工夫すること。
- 討論にインサートVTRを使用する場合には「狙い・内容」などを付記すること。
- 本企画構成に関し、想定取材先及び放送大学教員への問い合わせは行わないこと。

○「企画構成案」の内容・構成は、次のとおりとする。

※前後半の構成で、各 45 分の 2 本とする。

(1)前半：人工知能 (AI) の現在地 「汎用型 AI」 VS 「特化型 AI」

機械学習やディープラーニングにより、第三次ブームと言われる人工知能 (AI)。

将棋や囲碁の世界では、一流のプロ棋士を人工知能が打ち負かすなど、【特化型】AI は大きな成果を残している。

一方で、作業やタスクに限定せず、人間同様の能力を発揮する【汎用型】は、国立情報学研究所が開発した「東ロボくん」が、東大合格を断念するなど、苦戦が続いている。

開発の歴史を踏まえながら、研究最前線の動きを取り上げる。

(2)後半：人工知能 (AI) のこれから

人工知能はどんな未来を社会にもたらすのか。「2045 年問題」、人工知能が人間の能力を超える、「シンギュラリティ (技術的特異点)」は本当に実現するのか。

その時、人間と AI はどんな関係を結ぶのか。

「雇用」や「教育」など具体的なテーマをあげながら、人工知能 (AI) が開く、近未来を大胆予測する。

想定出演者

●AI 専門家

山川宏 (ドワンゴ人工知能研究所所長)

●放送大学講師

松井哲男 (放送大学教授)

森 一郎 (放送大学客員教授、東北大学教授)

●著名人

一般視聴者の目線で素朴な疑問を提示したり、専門家とはひと味違った視点を番組に持ち込んだりする存在。

AI について積極的に発言している「羽生善治・永世 7 冠」など。

別紙 4

制作する番組・本数・概算所要経費

1. 生涯学習支援番組（仮称） 5番組（45分版×5本、15分版×5本）

分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）
教養番組	全国学習センターめぐり（仮）	2年	12,500千円 （うち10本制作）

※45分版の終わり1分はフィラーとする。（素材は提供も可）。

2. 告知用動画 5番組（1分版×5本）

内容	概算所要経費（税込）
放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画。	上記1.に含む

地域に即した活動を行い、新たな教養の場として、地域に根ざした面接授業や独自の公開講座などを積極的に展開している「放送大学・全国学習センター」。地域にゆかりのある著名人や地元に関わった学びに取り組んでいる方をゲストとして迎え、視聴者目線で学習センターに触れてもらう。また、地域の特色なども交えながら、学習センターの果たす役割、多様な学生の学びの場となっている様子を多角的に紹介し、学びなおしのきっかけを提供する番組を制作・放送するもの。本件では、番組ごとに45分版とその短縮版である15分版とを5番組分、同時に制作する。なお、提示した「内容・構成」は5番組のうちの3番組であり、他の2番組については、別途、学園内で決定したものを提示する。

応募に際しては、以下3件の「内容・構成」から1件選定し、「企画構成案」を提出すること。提出された「企画構成案」に基づき審査を行い、制作者者を選定の上、具体的な演出方法等を決定するものとする。

- 「企画構成案」の書式は、自由であるが、構成案が簡潔に分かるように工夫すること。
- 本企画構成に関し、想定取材先及び放送大学教職員への問い合わせは行わないこと。
- 「企画構成案」の内容・構成は、次のとおりとする。
 - ① 街+学習センター紹介
 - ② クローズアップ！学習センターの“学び”
 - ③ “学び”対談（センター所長とゲスト）

(1)「大分学習センター：新しい学び舎で新たな学びを」

800人が学ぶ大分学習センター。2018年4月、別府大学別府キャンパスに移転した。前田センター所長が力を入れているのが、「オープンユニバーシティ・カフェ」と呼ぶ客員教員によるプチゼミ。

小さな学習センターならではの「教員と学生」の距離の近さを生かした取組を紹介。そのほか、地元と学習センターがタッグを組み、実施する大規模なイベント「石と水と信仰がつなぐマチュピチュの世界 in 大分宇佐」の様子を8月開催のシンポジウムを中心に取材、地域を教材とした多様な学びの展開を紹介する。新しいキャンパスで活動を始めた大分学習センターの魅力に迫る。

(2)「石川学習センター：地域の課題から学びを深める」

およそ800人が学ぶ、石川学習センター。金沢の中心部から少し離れた野々市の「金沢工業大学扇が丘キャンパス」内にある。

学習センターが、特に力を入れているのが「地域創生プロジェクト」。

市役所や地元企業とタッグを組んで、学生と教員が共同して、地域の課題解決に向けて取り組んでいる。

これまでに、福井県鯖江市の視察や市役所での成果発表などを行ってきた。

地域の課題から学びを深める、石川学習センターの魅力に迫る。

(3)「神奈川学習センター：学生サポートで充実した“学び”を」

5000人が学ぶ、大規模な神奈川学習センター。

横浜最古の古刹・弘明寺（ぐみょうじ）の門前町として栄えた地域にある。

一番の特徴は、「K-サポート」という、学生による学生サポートが充実していること。

学習相談やパソコンサポート、センター便りの発行など、活動は多岐にわたっている。

大規模な学習センターならではの多彩な学びのスタイルを丁寧に紹介する。

制作する番組・本数・概算所要経費

1. 生涯学習支援番組（仮称） 5番組（45分版×5本）

分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）
教養番組	「科学からの招待状」（仮）	2年	14,000千円 （うち5本制作）

※終わり1分はフィラーとする。（素材は提供も可）。

2. 告知用動画 5番組（1分版×5本）

内容	概算所要経費（税込）
放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画。	上記1に含む

理科離れた子供が大きくなってから見ても楽しめる、引き込まれるような「科学」の世界。放送大学の理科系講師陣が、世間の注目を集めるテーマを取り上げ、その奥深い魅力を判りやすく「科学の目線」で紹介する。

将来の夢は科学者だった。難しいと思い込んであきらめた理科系分野にもう一度踏み込んでみたい。専門的な科目にもう一度向き合いたい人たちへのガイドにもなることをめざす「理科系公開講座」を制作し、放送するものである。

例) 「太陽フレアの謎」「チバニアンと人類への影響」「AIが作り出す新しい“文化”」など
本件では、45分版を5番組制作する。

なお、提示した「内容・構成」は5番組のうちの1番組であり、他の4番組については、別途、学園内で決定したものを提示する。

応募に際しては、以下の点に即した「企画構成案」を提出すること。提出された「企画構成案」に基づき審査を行い、制作業者を選定の上、具体的な演出方法等を決定するものとする。

「米谷先生とたどる「超ひも理論」の歴史（仮）」

物理学の夢、「宇宙の全てを説明する理論」である「大統一理論」として、現在最も有力視されている「超ひも（弦）理論」について、その端緒を開いた「米谷民明」氏をメイン講師に向かえ、理論の魅力を伝えるとともに、ひとつの考え方や物の見方が世界を変える可能性について深く語ってもらう。同氏から視聴者に送る「物理学の招待状」としての番組。

- 「企画構成案」の書式は、自由であるが、構成案が簡潔に分かるように工夫すること。
- 本企画構成に関し、想定取材先及び放送大学教員への問い合わせは行わないこと。

○「企画構成案」の内容・構成は、次のとおりとする。

(1)「超ひも理論」とは何か

宇宙の全ての素粒子を微小なひもの振動として説明できるとする理論。

(2)なぜそれが必要だったのか

量子力学とアインシュタインの一般相対性理論の両方を誰も整合的に説明することが出来なかった。

(3)米谷先生の生い立ち：「弦理論」発想までの物理学の歴史

米谷先生はアインシュタインが大好きだった。

そして最初に重力と素粒子の結合に成功した「弦理論」の論文は1974年。

なんと大学院生の時だったという。

米谷先生の論文を辿りながら、その発想に至った過程や当時の思い出をご本人にうかがう。

(4)その後の物理学の推移：「標準理論」が取り残した「重力」

米谷先生と同時期にジョン・シュワルツなどが発表した理論は「弦理論」と呼ばれた。

しかし当時は誤解され、また実験結果との矛盾を含むなどとされ、その後の理論物理学は「重力」をとりあえず無視した「標準理論（小林、益川理論など）」へと進んで行く。

(5)「超ひも理論」の登場：米谷先生への再評価

ジョン・シュワルツとマイケル・グリーンによる「超ひも理論」が1984年に作られ、

その後21世紀に至るまで、非常に発展した。その驚くべき内容を紹介する。

「超ひも理論」の隆盛により、先駆者である米谷先生らへの評価も高まった。

(6)「超ひも理論」は実証可能か：物理学者達の挑戦

実証可能かどうか、物理学者達の挑戦が続いている。

制作する番組・本数・概算所要経費

1. 生涯学習支援番組（仮称） 3番組（45分版×3本）

分類	題目名	放送（ネット配信含む）期間	概算所要経費（税込）
教養番組	サイバーセキュリティ（仮）	2年	5,000千円 （うち3本制作）

※終わり1分はフィラーとする。（素材は提供も可）。

2. 告知用動画 3番組（1分版×3本）

内容	概算所要経費（税込）
放送やネット配信等で利用する1分間の告知用動画。	上記1に含む

あらゆるものがネットにつながり、パソコンやスマートフォンのない生活が考えられなくなっている現代社会。その一方で、サイバー犯罪やネットトラブルの増加が社会的な問題となっている。ネット社会のリスクやサイバー犯罪について、実例や専門家インタビューを通して理解し、セキュリティ強化の技術などを学んでいく番組（3回シリーズ）3本を制作し、放送するものである。

応募に際しては、以下の点に留意した「企画構成案」を提出すること。提出された「企画構成案」に基づき審査を行い、制作者を選定の上、具体的な演出方法等を決定するものとする。

- 「企画構成案」の書式は、自由であるが、構成案が簡潔に分かるように工夫すること。
- 本企画構成に関し、想定取材先及び放送大学教員への問い合わせは行わないこと。
- 「企画構成案」の内容・構成は、次のとおりとする。

第1回:サイバーセキュリティ入門

ネットにおけるリスク、専門用語の解説、危険なマルウェア・ランサムウェアなど、知らないうちに犯罪に巻き込まれたり加担したりすることのないよう、まず守るべきは自分のパソコンという視点から解説。

第2回:国家戦略としてのサイバーセキュリティ

組織を狙うサイバー攻撃とはどのようなものか？

被害の実態と社会への影響は？

国家としてのサイバーテロへの対応とは？

NISC 内閣サイバーセキュリティセンターの三角審議官へのインタビューを中心に構成・解説。

第3回:サイバーセキュリティ対策フロントライン

組織への不正アクセスの手口やセキュリティ強化技術などをテーマとする「白浜シンポジウム」を取材。(学園提供素材あり)

リアルタイムでのインシデントに対処する「情報危機管理コンテスト」の様子なども紹介しながら、対策の最前線を解説。

想定取材先

「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPIT)」参画大学、
情報セキュリティ大学院大学、国立高等専門学校機構、NISC:内閣サイバーセキュリティセンター、
警察庁、NICT:情報通信研究機構、IPA:情報処理推進機構、